



平成 30 年 5 月 22 日

各 位

株式会社ファルコホールディングス
京都市中京区河原町通二条上る清水町 346 番地
代表取締役社長 安田 忠史
(コード番号：4671 東証第一部)
問い合わせ先
執行役員 管理室副室長 大西規和
電話 (075) 257-8585

中期経営計画（2019年3月期－2021年3月期）策定のお知らせ

当社は、この度、2019年3月期から2021年3月期までの3か年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせします。

1. 本中期経営計画の背景

臨床検査事業においては、グループ内の事業再編、営業・検査拠点の再編、固定費の見直しなどの構造改革を行ってまいりました。また、臨床検査事業の営業力強化に取り組むとともに、検査原価の低減や業務の効率化を図り、生産性の向上及びコスト競争力の強化に取り組んでまいりました。

調剤薬局事業においては、堅実な店舗運営を推進しつつ、既存店舗の処方箋応需の拡大及び店舗運営の効率化に取り組んでまいりました。また、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進めてまいりました。

その結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに3期連続の増益を果たし、2018年3月期においては営業利益、経常利益ともに過去最高益を更新することができました。

しかし、今後の経営環境は、これまで以上に厳しくなると予想されます。高齢化の一層の進展に伴い今後も医療費は増加し、医療費抑制の取り組みが強化されると見込まれます。また、AIやIoTなどの技術革新が進展するとともに、遠隔診療など医療分野への応用も進展すると考えられます。

このような経営環境の中で、将来の飛躍の礎を築くため、本中期経営計画を策定いたしました。

2. 中期経営計画の概要

(1) 2021年3月期の経営数値目標（連結）

単位：百万円

| | 2018年3月期 <実績> | 2021年3月期 <目標> | 成長率 <年平均> |
|-----------------|------------------|------------------|--------------|
| 売上高 | 45,962 | 50,000 | 3% |
| 臨床検査事業 | 27,769 | 32,000 | 5% |
| 調剤薬局事業 | 18,193 | 18,000 | 0% |
| 営業利益 | 2,211 | 2,800 | 8% |
| 経常利益 | 2,385 | 2,900 | 7% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,697 | 1,800 | 2% |
| ROE | 9.3% | 9%以上 | - |

(2) 本中期経営計画の基本方針と事業セグメント別計画

①本中期経営計画の基本方針

本中期経営計画期間においては、中核事業である臨床検査事業、調剤薬局事業の収益力の強化を図ります。

更に、医療機関や患者など顧客との接点を強化し、顧客の多様なニーズを掘り起こし、臨床検査や医薬品に留まらず多様なサービスを提供することを目指します。特に、電子カルテをはじめとして医療保険に頼らないビジネスの事業化を図り、「脱医療保険」を目指します。

②臨床検査事業

新規顧客開拓を推進するとともに、ICTの活用等により顧客との接点と提案力を強化し、地域密着した営業活動を強化し、売上高の増大を目指します。また、臨床検査や集配業務の効率化により、収益力の強化を図ります。

医療IT事業を新たな事業セグメントとすべく、クラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」の販売を強化し、中小病院市場においてトップクラスのシェア獲得を目指します。

③調剤薬局事業

かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を強化するとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進めることにより、処方箋応需枚数の拡大と集中率の低下を目指します。また、店舗運営をゼロベースから見直すことにより、調剤業務の効率化やスピードアップを図ります。これらにより、診療報酬・薬価の改訂、

消費税率の引上げが実施される中で、収益力を強化してまいります。

(3) 株主還元方針

連結純資産総還元率を尺度とし、3%の達成を目標とします。

以 上